

中京大学広報

建学の精神
学術とスポーツの
真剣味の殿堂たれ

発行 中京大学広報部
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL (052) 832-2151 (代)
http://www.chukyo-u.ac.jp

国際社会へ人材育てる

「国際英語学部」 来年4月に発足



世界共通語としての英語と、英米圏の文化の幅広い理解を教育の柱とする、本学10番目の学部「国際英語学部」の2001年4月開設が、8月1日認可され、正式に決まった。グローバル化の進展

で英語の重要度が急速に増している状況を踏まえ、生きた英語とその文化の修得・探究を目的に開設、国際社会に有為な人材の育成に努める。
(2、3、4面に関連記事)

他の学部と同じ 日程で入学試験

センター試験利用も

国際英語学部の入学試験は、既に発表している文学部英文学科の日程をそのまま踏襲して行う。具体的には、他の学部と同様に、推薦入試(一般推薦は十一月二十三日)、学力入試前期日程(二〇〇二年二月一日)、同後期日程

入学試験のお問い合わせは、入試センター(〇五二-八三五-七二七三)にお願いします。

国際英語学部は、現在ある文学部英文学科を改組転換して開設、「国際英語学科」と「英米文化学科」の二学科を設ける。入学定員は両学科ともそれぞれ八十人。

コミュニケーション重視の 国際英語学科

国際英語学科は、コミュニケーション重視の英語の語学力をつけさせるのが目的。このため、一年次と二年次以降の二回にわたり、海外での語学研修を必修科目として設定。「海外インターンシップ」や「海外就職セミナー」などの科目も設けて海外での実習を

積極的に 英語の4技能 修得を進める 英米文化学科

英米文化学科は、英語の基本四技能(聞く・話す・読む・書く)の修得に力を入れる一方、選択研究領域として文化文学、言語の三つを設定。海外の学術交流協定校などで行う短期語学研修(海外セミナー

主な内容

- 国際英語学部認可され、10学部へのホームページリニューアル
- 国際英語学部紹介(「何を教え何を学ぶか」境教授に聞く、科目など)
- 国際英語学部など施設整備/著書
- 豊田体育施設一部オープン/著書
- 青木湖 夢科セミナーハウス/著書
- 梅村総長 学会で改革を語る/小川
- 学長アレヒシ出演/資格対策講座
- ひと往来/家田教授がCD制作
- 三年生に進路カード/就職状況
- 平成12年度本学決算
- ブラジル・カバリ夫妻に博士学位公開講座詳報
- 12グリーンキャンベーン/文化会活動
- 銀メダルの室伏選手祝福/体育会
- 米クレフン/大学と提携締結/テロ越えて交流強化を



リニューアル・ホームページの表紙(トップページ)
<http://www.chukyo-u.ac.jp>

「中京大学ホームページ」をリニューアル

「中京大学ホームページ」をより見やすく、読みやすくするためのリニューアル制作が終わり、十一月上旬に公開することが決まった。本学ホームページの初公開は一九九六年で、既に五年を経過したため、内容の一層の充実を目的に、全面見直しを行った。学長、理事長のメッセージ、歴史、建学の精神、理念、キャンパスマップなど

「リニューアル」が担当する職務全般を、「受来通り載せている。英語版の版生の方へ」、「在学生の父母の方へ」、トップページに、ニュース、一般社団法人の方などのコーナーを設置、学生への、企業のクラブ活動の紹介には、簡単な操作でレイアウトできる担当者フォーム機能も付けている。方へ、「各学部制作のホームページ」も徐々に充実しており、全学一体となって本学の情報を発信していく。アドレスは、上記の通りでこれまでと同じ。

「情報科学研究科(通信教育課程)」に力を入れる。本学では、国際英語学部の開設に備え、本年度、三人の外国人教員と国際英語学を専攻する日本人教員を採用、門とする日本人教員を採用。開設年度の二〇〇二年度には新たに外国人教員一人を含む二人を採用、学部名にふさわしい充実した教育を行っていく。また、両学科とも専門的科目にセメスター制を導入、より効果的な教育をめざす。

同時開設めざして申請中

本学は、国際英語学部のほかに、大学院心理学研究科と情報科学研究科(通信教育課程)を二〇〇二年四月に開設するため、文部科学省に申請している。十二月に認可の見込みで、本学は二〇〇二年度大学院九研究科・一通信制研究科・十学部体制となる。

世界共通語として

国際英語の役割大

なぜ開設するか

英語は国際間における言語として世界最大の使用人口を有しています。さらに、英語を第二言語、生活言語として使用する人口はその数倍にも達しています。英語は今でも世界共通語と

いい言葉ですが、多方面で進むグローバル化の中でその役割、重要性はますます大きくなっています。私たちはここに、「国際英語」の概念を見出し、地球的視野に立った新しい語学教育の必要性を認識して、国際英語学部の開設を決めました。

完璧でなくていい 日本人独自の英語

従来の英語教育とどう違うか

世界共通語としての英語を研究する「国際英語学会」は、会の名称に、World Englishes と English の複数形を使っています。地球上に数多く存在する英語形態をそのまま認め合うというものです。国際英語学部の教育もこの考えを基礎にしています。音

ではないか。日本人独自の英語で自分の意見を発表しよう。より完璧な英語を話さなければならぬという呪縛から学生たちを解放してあげよう。発表する喜びを中心に発信型の学習をより重視しようとするものです。十分に発表する力をつけた上で、次の矯正の段階に進めばいいのではない

国際英語力の修得 英米圏の文化研究

何を教えるか

「国際英語学科」は、国際英語の修得と運用能力の育成を大きな目標としています。学生は培った英語力をもとに、三つの専門研究領域である、「国際地域研究」、「コミュニケーション研究」、「言語教育

「英米文化学科」は、英米圏の文化研究を深く掘り下げます。英米の文学、視覚芸術、大衆文化から言語・文化理論



境 賛三・国際英語学部長(予定者)に
聞かした



国際英語学部では

地球的視野に立ち 新しい語学教育を

積極的に海外実習 国際感覚を高める

どう教えるか

国際英語学科では必修科目として二つの海外研修科目を設けます。一年次に行うアセアン八カ国創設の英語教育研究所(シンガポール)での三週間の研修と、二年次以降に行う本学提携の米岡やオーストラリアの大学での研修です。また、一年次から「海外インターンシップ」、二年次からは「海外就職セミナー」などを設けて、海外での実習を積極的に進めます。

専任教員が一学年十六人のクラスを担当する「ピア・サポート・システム」を導入して学習とともに心理的ケアにも力を入れます。一方、英米文化学科は、英語の基本四技能(聞く・話す・読む・書く)の修得を基礎に、文化、文学、言語の三領域の研究領域を選択して学びます。必修科目を四技能習得科目と専門の演習科目に限定するの

英語力を生かして 活躍の場が広がる

卒業後の進路は

英語を生かせる職場は、通訳や翻訳、旅行関係ばかりではありません。企業の大半で英語を話せる人材が不可欠になっています。本学が企業を

「考えたい」と答えました。海外の企業、海外と交渉をもつ国内企業や非営利団体など、また国内外での英語や日本語の指導に当たる教員など、英語に精通した学生たちの活躍の場は、これからも大きく世界に広がっていくことでし

とでイギリス文化への理解を深める。スコットランド・ウェールズなどの地方性、移民問題や北アイルランド問題などのイギリス文化の多様性には、特に力をいれて紹介。

アメリカ文化

アメリカの文化と歴史について基本的な知識の獲得とともに、文化研究一般についての基礎的な理解を促す。近年の文化および歴史研究において試みられている多元文化主義的・修正主義的立場から、今日に到るまでのアメリカが内包してきた社会的問題に関しても、特にアメリカ社会における様々なマイノリティ・グループの実態とその歴史的・社会的推移に焦点をあてて紹介する。

カレント・トピックス

ネイティブ・スピーカーの教員による授業。世界で配信されるニュースのうち英語による量は膨大である。英字新聞をはじめ CNN や

BBC のテレビ・ニュース、世界的に定評のある雑誌の記事を題材に、ジャーナリズムの英語に慣れるようにする。

カレント・トピックス

ネイティブ・スピーカーの教員による授業。カレント・トピックス をふまえて、英文記事を速読、要約する技術を身につけたい。その上で、今日の問題について自分の意見を発表できるようにしたい。英語によって、あらゆる国の人々とコミュニケーションの回路を開くことが目標である。

現代英語圏事情

日本とは「時差のない国」オーストラリアは、貿易・留学・観光など結びつきを強めている。歴史をさかのぼり、オーストラリア理解を多角的に進める。特に、マイトシップ、白豪主義、アボリジナルなどについて力点を置く。また、オーストラリア英語の特色についても触れる。

英米文化学科

情報コミュニケーションと英語

マルチ・メディア教室を使用し、CALL (Computer Assisted Language Learning) への導入編として、基礎的なコンピューター・リテラシーの獲得および英語力の育成が目的。ワープロ、表計算および電子メールなどの基本ソフトの使用法についての解説および実践を通して、パソコンについて学ぶ。ショートエッセイ、ビジネスレター、Eメール等の文書の作成・編集とインターネットによる教官と学生との双方向通信、添削指導を行う。本講義は「情報コミュニケーションと英語」に接続する。

イギリス文化

イギリスに現在現れている文化現象に、政治・経済・歴史の反映をときほぐしていく。たとえば、ヒット映画やヒット曲の背景やガーデニング文化の歴史などを多角的に解説するこ

国際英語学部を担う教員たち

国際英語学科

境 賛三 教授

米国アメリカン大学大学院教育学研究科教育専攻修士課程修了。研究テーマは、大学英語教育、視聴覚教育、日米コミュニケーション行動比較など。主な著書に「英語音声学の研究」、*Latin and Greek Elements in the English Language*、『*Scrooge*』における善と悪：アメリカ社会の倫理観と宗教観」など。

福吉 瑛子 教授

名古屋大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了。研究テーマはイギリスの海外進出とブロードサイドバラッド。主な著書、論文に「英米文学 名作への散歩道 イギリス編」(共著)、「オーストラリア流刑のうた」など。

吉川 寛 教授

南山大学大学院文学研究科文化人類学専攻修士課程修了、米国イリノイ大学大学院言語学専攻修士課程修了。日本「アジア英語」学会理事、大学英語教育学会理事。主な著書に「異文化理解とコミュニケーション1」(共著)など。

リチャード・G・モリソン 助教授

米国マサチューセッツ大学アムハースト校大学院教育学研究科修士課程修了。国際開発協力機構専任英語講師、中京大学英文学科招聘講師など歴任。外国人講師群によって指導される「オーラル・コミュニケーション演習」の統括責任者。

ジェイムズ・F・ダンジェロ 助教授

米国マサチューセッツ大学ボストン校大学院英語教育学研究科修士課程修了、米国ボストン大学大学院経営学研究科修士課程修了。中京大学英文学科招聘講師、名古屋市立大学人文社会学部国際文化学科講師など歴任。海外の大学とのオンライン交換授業の統括責任者。

奥村 みさ 助教授

上智大学大学院外国語学研究科国際関係論専攻博士課程。博士(上智大学、国際関係論)、2000年度国立民族学博物館共同研究「メディアにみるイスラーム女性の実像と虚像」に参画。主な著書に「現代世界と宗教」(共著)、「東南アジアのキリスト教」(共著)など。

ゲーリー・フレンチ 助教授

米国ボウリング・グリーン大学大学院英語教育学研究科修士課程修了。メキシコ科学技術大学講師、セント・メリー大学講師、愛知学院大学教養部講師など歴任。外国人講師群によって指導される「コミュニケーション・ライティング」の統括責任者。

英米文化学科

渡辺 忠夫 教授

学習院大学大学院人文科学研究科イギリス文学専攻博士課程。研究分野・テーマはスコットランド英文学、イングランド英文学、アイルランド文学。主な著書・論文に「マードックと幻夢の破砕」、「マードックと偶然の世界」、「ラファディオ・ハーンとモダニズム」。

細川 眞 教授

広島大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程。研究分野はイギリス文学(シェイクスピア)で、主な著書・論文に『シェイクスピアのディスガイズの系譜』、「ハムレットの伴狂と二つのミメーシス」など。

岩田 託子 教授

津田塾大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程。研究テーマはモダニズム、パンチ&ジュディ、グレットナ・グリーン。主な著書・論文に『英国文化の世紀4 民衆の文化誌』、「グレットナ・グリーン 英国随一の結婚式場」など。

得 良臣 助教授

立教大学大学院文学研究科英米文学専攻博士課程。研究分野・テーマはアメリカ文学(詩、小説、ドラマ)。主な著書に「美の世界 英米の詩と小説と劇」など。

足立 公也 助教授

東京都立大学大学院人文科学研究科英文学専攻博士課程。研究分野は英語統語論で、主な著書に「言語学への招待」(共著)、「一歩進んだ英文法」(共著)など。

クリストファ・J・アームストロング 助教授

カナダ・モントリオール大学大学院修了。モントリオール大学で「カナダの文学と地域主義」の研究で博士学位修得。モントリオール大学講師、コンコーディア大学英語学科講師、名古屋商科大学専任講師など歴任。

森 有礼 講師

名古屋大学大学院文学研究科英文学専攻博士課程。日本アメリカ文学会、日本ウィリアム・フォークナー協会などに所属。主な論文に「大衆の肅清：Sanctuaryにおける知識階級と社会決定論」など。

主な開講科目

国際英語学科

国際英語学概論

英語が国際化した歴史とその要因、およびその現状について概観し、そこで起こっている諸問題について、最も新しいデータに基づいて分析検討し、英語の現在の国際的位置について明確な見識をもたせる。「英語の国際化の軌跡」「アジアと英語(ESLの国内語としての英語)」「EUと英語」「英語の脱英米化」「日本英語変種は生まれるか」などを講ずる。

アジア地域研究

日本はアジアの国々との共生が、今後も必須であるが、各地域の歴史的、地勢的状況も多様であり、アジア地域を画一的に論ずることは不可能。中国、韓国、インド、シンガポール、マレーシア、フィリピン、インドネシア、タイ等、アジア諸国の地理、歴史を日本との関係を視野に入れて概観する。

オセアニア地域研究

オーストラリア、ニュージーランドを中心に、

オセアニア地域諸国を歴史的経過と社会的現況の双方から検証する。中京大学とマコーリー大学(シドニー)双方教授陣による、「オセアニア圏の文化と社会」の講義をインターネットなどを通じて相互交換。テレビ会議方式によるリアルタイムでの授業交換も実施する。ネット掲示板やチャットルームなども通して、両大学学生同士の生の学術交流を行い、オセアニア圏について理解を深める。

国際ビジネス論

日本企業の海外進出を検証し、その問題点と長所を認識する。また国際経営の視点から、企業活動、国際金融、日本の生産システム、日本人派遣駐在員、異文化管理、労務管理、技術移転、国際分業、戦略的提携、国際合併などのテーマについて講義を進める。将来、海外でのビジネスに飛躍する学生を対象に一つの研究テーマを選び、独自の研究を進め、学期末にその成果を発表させる。

マスメディアと英語

国際英語学部に期待します

アセアン英語教育研究所長(シンガポール)

フー・チャー・ヤンさん



シンガポールが小国で、天然資源に恵まれていないのに、国際社会が驚く経済発展を成し遂げた背景には、英語を教育の基幹言語として多様な母国語とともに早期から徹底的に教育する、独自の言語政策が挙げられます。国の発展には、世界共通語である英語ができ、国際社会で活躍できる人材が不可欠で、

アセアン英語教育研究所ではいま、近隣のアジア諸国研修生を受け入れ、独自の英語集中訓練コースで特別教育をしています。研修生は早期

には高いコミュニケーション能力を身につけ、それぞれ母国の発展に活躍しています。中京大学に新たに開設される国際英語学科に入学する一年生を全員、語学研修生としてわが研究所に受け入れることになりました。若い、能力の高い学生を迎えることは、大きな喜びであり、同時に大きな責任を感じています。アセアン英語教育研究所が

設を心から喜んでいきます。中京大学国際英語学部の開

国際社会で英語は不可欠 アジアの発展に貢献する 人づくりを共に進めよう

長年、英語圏外の人たちの英語教育に果たしてきた実績を思うとき、必ずや中京大学の生の期待に答えられると信じています。そして、ここで学んだ学生たちは、アジア諸国の研修生とともに、日本の、アジアの発展に貢献してくれるでしょう。

国家や巨大資本によるマスコミ占拠の時代から、個人や市民による情報伝達がコンピュータの普及とともに発達し、市民レベルの国際情報伝達の時代にもなっている。このような中で世界共通語である英語がどんな場面で生かされるかを、事例に基づいて検討。NGOやNPOなどで、国際的広報活動を積極的に行っている例などについても学習する。

ビジネス英語演習

ワーキング・ランゲージとしてのビジネス英語とオフィス業務を習得する。ビジネスという場合は、民間企業のみならず自治体や公共組織、市民団体をも含む。とりわけ、プレゼンテーション・テクニクを磨き、海外インターンシップや卒業後の職場でのニーズに応えるものとする。実地見学として、名古屋地域の外資系企業を訪問する予定。



公開された国際英語学部マルチメディア学習室を
実地体験する高校教師

来春開設にあわせ

国際英語学部 施設整備進む

2研究科(心理学 / 情報科学の通信教育課程) 片着々

来春の開設が認可された国際英語学部と開設申請中の大学院心理学研究科、情報科学研究科に併設する通信教育課程(認知科学専攻修士課程)の施設整備が着々整っている。一部はすでに完成して、高校教師や高校生にも公開、新しい教育環境を見てもらった。

新しい語学教育めざし 4号館4階に専用フロア

国際英語学部

名古屋キャンパスに開設される国際英語学部の専用フロアは4号館4階にできる。ここでは会話は原則的に英語を使う環境に慣れてもらおうのがねらいだ。

四階を上がった右側の一角は、海外交換講座専用コーナー、コミュニケーションスペース、教材作成コーナー、学習指導室。

海外交換講座専用コーナーには80インチスクリーン、海外通信、同時通訳設備な

どが設置され、このやりとりは同階にあるマルチメディア演習室1、3に配信できる。

学習指導室には外国人教員が常駐して、いつでも質問相談に応じる。コミュニケーションスペースはラウンジを兼ねており、世界時計も備えられ、どの時間にとこど学習できるか一目でわかる。

左側にはマルチメディア演習室。演習室1にはパソコン五十四台、演習室3には五十二台が設置され、海外交換講座専用コーナーから配信される米国マサチューセッツ大学

ポストン校と共同のネット上の授業がスクリーンに映し出される。

演習室2は、十六人程度の小人数教育に利用され、外国人教員がいろいろな課題を通してコミュニケーション能力を高める。演習室各室には無線通信機能がついたヘッドホンを使ったヒアリングシステムが導入される。

演習室3は完成して高校教員や高校生らに開放されたが「新しい語学教育にふさわしい設備、充実した教育環境だ」と、評価する声が高かった。

定員増加に伴い 院生室など増設

心理学研究科

一方、開設申請中の大学院研究科の施設整備も進んでいる。

名古屋キャンパスに開設予定の心理学研究科は、文学研究科心理学専攻を組織替えして開設。実験・応用心理学専攻、臨床・発達心理学専攻の

二専攻で構成。入学定員は修士課程三十人で、現在に比べ倍増する。

このため施設整備は3号館の院生室、講義室、演習室を定員増加に伴って増設する工事が中心で、来年三月までに完了する。

通信教育に対応 スタジオ建設中

情報科学研究科

豊田キャンパス15号館一階では、情報科学研究科に併設する通信課程を受講する大学院生に配信する教材づくりのためのスタジオがつけられている。

広さ二十五平方メートル、防音機能を持ち、講義をリモートコントロールで録音、録画できる設備が設置される。本体工事が終わったあと、来年三月までに機器が据え付けられる。このほか、スクリーン教室など二室できる。

アンケート調査では

本学は、二〇〇二年度に開設する国際英語学部について高校生、企業を対象にアンケート調査をした。この結果、高校生は、企業とも国際英語学部の開設に大きな関心を寄せ、これからの時代を担う人材育成に大きな役割を果たすとみていることが分かった。

調査は二月一日から四月二日まで東海地方の高等学校、

国際英語学部 に大きな関心

企業「語学力に期待」

高校生「時代担う学部」

調査は「非常に重要だ」と思う「一五・九%」ある程度重要だと思う「六六・〇%」で、重要性の認識では八割を超え

た。受験するかどうかでは「ぜひ受験したい」四・六%、「どちらかといえば受験したい」二二・二%で、人数に

企業は国際英語学部が高い関心を寄せながらも、全体的に、話す、聞く能力を重視している傾向がうかがえた。

た。受験するかどうかでは「ぜひ受験したい」四・六%、「どちらかといえば受験したい」二二・二%で、人数に

米文化学科に分けて尋ねたが、関心度、採用意向度とも国際英語学科が高かった。たとえば、国際英語学科の「非常に関心が持った」一六・一%に対し、英米文化学科は一一・〇%、国際英語学科の「積極的に採用したい」一三・三%に対し、英米文化学科九・三%だった。

著者は経済学部教授で、大学院経済学研究科長。東洋経済新報社刊、二二五頁。本体価格一、五〇〇円。

著者は経済学部教授で、大学院経済学研究科長。東洋経済新報社刊、二二五頁。本体価格一、五〇〇円。

著書

運動とスポーツの生理学

北川 薫著

体育・スポーツ・健康科学テキストブックシリーズと題されたその第一巻。この分野では著名な編集者が、自ら興した出版社の最初の書でもあり、国民生活は急激な下落を続けることとなる。

ところが大改革を実施すると、目的に景気は大幅に落ち込み、日本経済は惨憺たる状況になる。しかし、過去の半世紀、日本経済を奇跡的に発展させてきた日本国民である。我々が本気で挑戦すれば、できない改革ではないと、著者は勇気を鼓舞してくれる。

節約国家のすすめ 耐えの後に

繁栄あり

水谷 研治著

日本経済の将来を考えると大改革が必要である、と主張する警告、啓蒙の書である。従来のままで推移すれば、永遠の衰退が待っている。長年にわたって積み上げてきた国の借金の重みに耐えられなくなり、国民生活は急激な下落を続けることとなる。



著者は経済学部教授で、大学院経済学研究科長。東洋経済新報社刊、二二五頁。本体価格一、五〇〇円。

著者は経済学部教授で、大学院経済学研究科長。東洋経済新報社刊、二二五頁。本体価格一、五〇〇円。

豊田キャンパス

体育・健康施設 来春完成

授業、体育活動で活用



ほぼ完成した豊田キャンパスの体育・健康施設。右がテニスコート、その左が多目的広場。真ん中がクラブハウス。その奥にゴルフ打ち放し練習場

豊田キャンパスの体育・健康施設の整備が進み、一部は十月から、すべてが完成する来春四月からは講義などに活用される。

体育・健康施設はキャンパス東部にあり、多目的広場を中心に、北側のハンドボールコート二面、アーチアリー場南側のテニスコート八面、東側のゴルフ打ち放し練習場とセンターハウス、クラブハウスの各施設が新設、一部リニューアルされた。各施設は透水性のアスファルト舗装の歩道で結ばれた。

学生たちがキャンペーン

6回目の「エコ・ウィーク」 3日間で99人が呼びかけ

キャンパスを清潔で快適に!!

清潔で快適なキャンパスを維持するためのキャンペーン「エコ・ウィーク」が、この秋も九月二十六日から三日間、名古屋キャンパス・センタービル前を中心に行われた。

キャンペーンに参加したのち「環境保全委員会」を組織している学生課の職員や、実行委員会の学生たち。一日

「エコ・ウィーク」は、キャンパス内の清掃を担当している。

用が検討されている。アーチアリー場は五人が競技でき、九十九から三十打まで五種目の競技が可能。ゴルフ打ち放し練習場は二階建てで三十打席、距離は百五十ヤード。ハンドボールコートやテニスコートは、増設を含めリニューアルされた。ゴルフ打ち放し場のオープンは、五月に開いた定例協議会で学生の成績評価を優良・可・不可の四段階からS・A・B・C・Dの五段階に変えることを決め、二〇〇二年度から実施する。

新しい評価では、S(100)は、S(100)以上、A(80)は、A(80)以上、B(70)は、B(70)以上、C(60)は、C(60)以上、D(60未満)は、D(60未満)とアルファベットで評価され、五段階になる。Dは不合格、これまでの良・可・不可は、

2002年度から 成績表が変わります S・A・B・C・Dの5段階に

元教授 前川 祐一氏



元文学部英文学科教授の前川祐一(まえかわ・ゆういち)先生は、八月三十一日逝去されました。七十五歳、一九九〇年から九六年まで在職、英文学を担当されました。

この新しい評価で、S(100)は、S(100)以上、A(80)は、A(80)以上、B(70)は、B(70)以上、C(60)は、C(60)以上、D(60未満)は、D(60未満)とアルファベットで評価され、五段階になる。Dは不合格、これまでの良・可・不可は、

民族問題と 社会民主主義

丸山 敬一他訳



フランス語、イタリア語、英語などに相次いで翻訳されている。日本語に訳されたのは今回が初めてである。

記者代表の丸山氏は法学部教授、五四四〇。御茶の水書房刊。本体価格九、〇〇〇円

新実践画像処理

興水 大和 他編著

興水大和情報科学部教授が編集委員長を務めた「実践画像処理」(二〇〇〇年・シユプリンガー・フェアラク東京刊)の改訂版である。旧書は好評で初版がすぐに売り切れとなった。このため増刷と改訂が検討されたが、価格の設定などで折り合わず、出版社を変えての改訂版刊行となった。画像鮮明化手法の項を追加したり、モフォロジ処理手法の解説を強化するなど内容を一段と充実させ、付録のCD-ROMもバージョンアップしている。その一方で、価格(本体)を旧書の五、〇〇〇円から二、〇〇〇円に大幅に下げ、学生を中心とする読者の便宜を図っている。



著書

元文学部英文学科教授の前川祐一(まえかわ・ゆういち)先生は、八月三十一日逝去されました。七十五歳、一九九〇年から九六年まで在職、英文学を担当されました。

5氏に名誉教授の称号

本年度9人に、総勢は50人

福田 権一氏 松村 信美氏

文学部 文学部



高田 邦彦氏

教養部



原 昌氏

文学部



三浦 謙氏

教養部



本学園は、四月一日付で、

松村信美、原昌、福田権一、

高田邦彦、三浦謙の五氏(い

ずれも三月末に定年退職、ま

たは選定定年退職された)に

教授を務めた。

原氏は、一九八〇年文学部

英文学科教授に採用、英文学

科長、文学研究科長、文化科

学研究所長を務めた。

福田氏は、一九六五年教養

部助教授に採用、文学部英文

学教授、文学研究科教授

英文学科長を務めた。

本学名誉教授の称号を授与した。名誉教授の称号授与は今年度九人、トータルで五十人となった。

高田氏は、一九六六年教養部助教授に採用、七四年教授となり、二十六年間教授を務めた。

三浦氏は、一九七五年教養部助教授に採用、教授、教養部長代理を務めた。

ベトナム政府の関係者が本学へ 小川学長と懇談 大学教育に関心

ベトナム政府の中小企業振興関係者九人が六月五日、本学を訪れた。トヨタ自動車と関連部品工場を視察したあとの訪問で、一行は、本学中小企業研究所で寺岡寛所長らと名古屋地区の自動車関連中小企業の現況について意見交換した。小川英次学長への表敬訪問では、私立大学の経営実態、入試方法、カリキュラムなどについて質問が出され、大学教育に高い関心が示された。

前期開講は4月8日 2002年度行事日程

日、新入生には四月一日に行われる。

前期の開講は四月八日、夏季休業は八月十日から、九月十八日から後期授業が始まる。冬季休業は十一月二十六日から、一月六日から二十日まで後期試験、卒業式は三月十九日が予定されている。

月	日	曜日	行事		
前期	3	25	月	教務課ガイダンス・成績表配布等(新2年次、3年次、4年次)	
		29	金		
		1	月	1年次ガイダンス	
		2	火	入学式	
		3	水	教務課・学部ガイダンス(対象:1年次)	
		5	金	履修相談会等	
		8	月	前期開講	
		15	月	履修登録期間	
		16	火		
		30	火	休講期間	
		6	月		
		17	金	学園創立記念日(平常授業)	
	18	土	大学創立記念日(平常授業)		
	10	水	前期補講期間		
	13	土			
	15	月	前期定期試験期間		
	29	月			
	30	火	前期集中講義期間		
	9	金			
	10	土	夏季休業開始		
後期		9	月	前期成績表配布	
		11	水	前期終講科目の再試験受付(4年次生のみ)	
		12	木	前期終講科目の再試験、前期追試験期間	
		17	火		
		18	水	後期開講	
		10	30	水	創立者祭(休講)
		11	1	金	大学祭期間(休講)
			4	月	
		18	水	後期補講期間(12/18,19,20,21,24,25)	
		25	水		
		26	木	冬季休業開始	
		6	月	後期定期試験	
		20	月	センター入試(1/18,19)	
		21	火	後期集中講義期間	
		27	月		
	1	土	中京大学入学試験(2/1~4および2/7)		
	4	火			
	13	木	後期追・再試験期間		
	19	水			
	3	19	水	卒業式(変更される場合もあり)	

著書

株式会社リンクス刊 三〇六頁。

メディア文化の社会学

社会学

加藤 晴明著



記述で書かれている。電子メディア文化に関心のある者にとって恰好の道しるべとなるような本である。著者は社会学部助教授、福村出版刊。二四〇頁。本体価格一三〇〇円。

インド・ヨーロッパ語族のコレクシヨン

伊藤 忠夫他訳

インド・ヨーロッパ語族は英語をはじめとする多くの言語を含む言語「家族」で、現在、地球上にもっとも広く分布する言語を含み、東はインドから西のアイランドに至る広い地域で話されていた。これらの言語を話す人々は、それぞれ神話を持ち、インド・ヨーロッパ語族という考えが確立するとともに、神話の比較研究も始まった。しかし、十九世紀に盛んだった比較研究は、神々の名前の類似や未開の人々の自然現象に対する驚異や畏怖の気持ちなどで説明する単純な方法に頼るだけで、急速に支持を失った。



デュメジル(一八九八— (7面7段目へ続く)

社会学やメディア論の理論も現状分析の道具として提供されているが、学生たちのメディア分析の記述なども盛り込まれており、全体が平明な

パネリスト席で話す梅村総長(右)、左は北川三重県知事



「中京大学こうして改革」

梅村総長、シンポジウムで話す

二〇〇一年度大学行政管理学会のシンポジウム「大学の経営と教育サービスのイノベーション」改革に取り組んだ非常勤組織に学ぶ」が九月一日、名古屋市の

内で開かれ、梅村清弘総長・理事長が、パネリストとして参加。本学の改革に先頭に立つて取り組んできた実績を話した。

学長就任当時 目標を明確にし 経営は危機的 状況にあった 徹底的に情報公開をした 教職員を信じて

パネリストはほかに、三重

県知事北川正恭氏、亀田総合

病院長亀田信介氏(千葉県)。

改革の遅れが指摘されている行政、医療、教育の分野で、積極的な改革に取り組む、成果をあげてきた三氏が招かれ、改革への留意点と課題、リーダーシップの重要性などで意見

を交わした。梅村総長・理事長は「学長に就任した一九八〇年、本学は四学部で、経営的には危機的な状況にあったが、目標を明確にして、教職員を信じ、情報を公開して徹底的に話し合ってきた。来年には十番目の学部、国際英語学部を設置

できるまでに発展した」と、目標の明確化、リーダーシップ、徹底的な情報公開の必要性などを強調した。また、カリキュラムの改革にも学長を中心とする教務部門が取り組んでいる現状を報告、聴講者に多くの示唆を与えた。

北川、亀田両氏は「県民の人文社会科学系の学術・教育・ビジネス分野のレファレンス書を扱う、世界最大の出版社ゲイル・グループ(米)が継続刊行している『古代・中世文学評論集(Classical and Medieval Literature Criticism)』第44巻(二〇〇一年七月刊)に、『写真』に、長谷川端文学部国文学科教授の論文が掲載された。

この評論集は、世界中の研究者の優れた論文だけを精選紹介していることで知られる権威ある書。掲載された長谷川教授の論文は、「平家物語の初期段階(The Early Stages of the Tale Monogatari)」(上智大学発行 Monumenta Japonica第22巻初出)。慶応義塾大学の派遣でオーストラリア国立大学東洋学部勤務していた一九六五年に、メルボルン大学で開催された全豪文学語学学会創立大会で発表したものを活字化したもの。平家物語が文学的に優れた作品になったのは、琵琶法師の語りの中で洗練されていったため、その語りには定型表現(Template)の力が大いに関係していることなどを究明した先駆的な論文である。



小川学長、NHKテレビで語る

の生番組「おしゃべりらんち」の「学長フレッシントーク」のコーナーに出演し、中京大学の魅力を持つ大学として発展の「中京大学に新しい魅力」「自信を持ち常に謙虚に」

の経歴を語り、小川学長は「災いの後には必ず福が」と学生たちにも話しています。「また、好きな言葉として、『随処作主(ずいじょずしゅ)』を挙げ、常に自分自身を忘れず、自信を持ち、また、謙虚であることが大切

生産管理論や中小企業研究の世界的権威となった小川学長の経歴を語り、小川学長は「災いの後には必ず福が」と学生たちにも話しています。「また、好きな言葉として、『随処作主(ずいじょずしゅ)』を挙げ、常に自分自身を忘れず、自信を持ち、また、謙虚であることが大切

また、謙虚であることが大切ですが、これは人も中小企業などの事業所も同じです」と語った。(写真はNHKテレビから)

小川英次学長は九月二十五日、NHK名古屋放送局制作

味や信条などを語った。司会者が「学生時代の就職出演したのは約十分間、日などの節目に一度の急病に遭いながらも、逆にそれをハネた心理学部や、来春開設するに一念発起して勉強に励み

著書

九八六)は、比較神話研究のために行われ、患者のための医療、学生のための大学でなければ「衰退する」と述べ、改革への取り組みを促した。大学行政管理学会は、大学管理職員が大学行政、管理の在り方を研究するための組織で、一九九七年に発足。現在会員は二〇五大学、七〇七人

米の権威ある 評論集に掲載 長谷川端教授の「平家物語」論文



文学部国文学科 長谷川端教授

「平家物語」の初期段階(The Early Stages of the Tale Monogatari)」(上智大学発行 Monumenta Japonica第22巻初出)。慶応義塾大学の派遣でオーストラリア国立大学東洋学部勤務していた一九六五年に、メルボルン大学で開催された全豪文学語学学会創立大会で発表したものを活字化したもの。平家物語が文学的に優れた作品になったのは、琵琶法師の語りの中で洗練されていったため、その語りには定型表現(Template)の力が大いに関係していることなどを究明した先駆的な論文である。

資格対策講座

学内で開講している資格対策講座は後期から新たに「社会保険労務士」「カラーコーディネーター二級」など十講座が開講し、合わせて三

十講座に二、七五五人が登録スキルアップをめざし、勉強に励んでいる。資格対策講座は三年目。受講生は前年度の二、二七三人に比べ、大幅に増えた。受講

後期から新しく10講座 受講熱アップ、合格率も?

生は、三年生が中心で、二、三年生に限れば三人弱に一人が受講している動向。本年度の受講生の中には自主的に勉強会をつくって、グループで励まし合って勉強し

ている姿もみられ、夏休み中も朝から大学に集まって勉強夜の講座に備える学生も多かった。

講座を担当しているエグゼクティブ事務室では「熱心な受講態度からみて、各種資格取得試験でこれまでにない多くの合格者が出そう」と期待している。



地下深く進む都市化の波

深々度地下での人間の行動・心理さらに解明

心理学部教授 神作 博



地下50mの生活が人間の心理に及ぼす影響を説明する神作教授(右)=NHKテレビ局=

都市化の波の先端は地下深くにまで及んでおり、地下鉄をはじめとした巨大構造物が数々建設・敷設されており、NHKでは七月初旬、この実態を「ひろぎ日本列島」で紹介しました。

私は一連の放送の最終日(七月五日)に出演。松本アナウンサーや女優の伊藤かずえさんと共に、神奈川県相模原市にある地下五〇メートルの研究所を訪問、人間行動・心理の視点よりの研究の状況を紹介・解説しました。

この番組は生放送を特色としており、研究の状況や狙いを如実に示さんとしたのですが、予想外のハプニングも生じたりして、目論見通りの実況放送とはいかぬこともあり

ました。しかし、研究志向し、地下鉄の赤々々な様子は視聴者に伝わったと考えられています。

私は現在、土木学会地下空間研究委員会環境・心理小委員長を務めており、今回の出演も同地下空間研究委員長の名古屋大学西淳二教授の要請によるものでした。

深々度地下での人間の生活・行動では地表での生活と異なり、解明・確認すべき問題が山積しています。極限的な異環境という点で宇宙と共通のものがあり、一研究グループの努力だけでは限界があります。巨大研究プロジェクトの必要性を痛感している次第です。



自主制作したCDと家田教授

NAGOYAをテーマの音楽CDつくり全国発売

学生時代のバンド仲間と

体育学部 家田教授

家田重晴体育学部教授は、学生時代から趣味の音楽活動を続けてきたが、このほど、学生時代のバンド仲間と一緒に、音楽CDを自主制作し、全国発売した。

タイトルは「NAGOYAのデイト」(地下鉄に乗って)。

家田教授が作詞、作曲し、ボーカルも担当。「ランの館」を始め、ナゴヤドーム、セントラルパーク、熱田神宮、名古屋港水族館、テレビ塔など、名古屋の名所を二人で立ち見で回るといふ設定の楽しく軽快な曲である。

名古屋キャンパスのある八事を通る予定の地下鉄4号線

豊田市教委 市民文化部会 委員に委嘱

体育学部2年 大野朋美さん

(環状線)の早期完成を願う

体育学部二年、大野朋美さんが、豊田市教育委員会から「市民文化・文化財保護部会」委員に委嘱され、七月二十六日開かれた初会合に出席した。委員の任期は二年で、大野さんは「市民の立場から市民文化の在り方について提言して

いく。同市教委は、二〇一〇年をにらんだ豊田市の教育行政計画を策定するための審議会とその下部組織の五部会委員に市民の意見や要望を積極的に取り入れていくために一部委員を公募した。大野さんは応募した大学生七人の中から選ばれた。学生が教育関係審議会の委員を委嘱されるのは全国的にみても珍しいことといわれる。

大野さんは「教員を志望している。将来、プラスになると思い、応募した。公民館を子どもたちが日本の伝統



新任の事務職員 (8月1日付) 部費氏各年齢 佐藤 賢治 (さとう けんじ) 29歳

名誉教授 沈 晩變氏



ばんしやう)先生は、五月二十五日逝去されました。七十三歳

経済学部長、経済学研究科長など、要職を歴任。九九年名誉教授

外国人初の文部教官(名大助手)として知られ、本学では、地域に定着した年末の景気シンポ「来年の経済通し」に一九八七年の第一回から参加、的確で歯切れよい経済診断で人気がありました。

訃報

元教養部教授 江川 卓氏



元教養部教授の江川卓(えがわ たかく、本名・馬場宏)がわたく、本名・馬場宏

ロシア文学者として活躍

ばば・ひろし)先生は、七月四日逝去されました。七十四歳

東京工業大学教授を経て、一九八七年教養部教授に就任、文化科学研究所所長を兼任

一九九七年定年退職

「謎とき・罪と罰」で読売文学賞を受賞されました。本学では評論誌「八事」の編集委員長として、文筆、評論活動でも活躍されました。

文化に接する場になるように提言していきたい」と話している。

的確で歯切れよい経済診断

名譽教授、元経済学研究科・経済学部教授の沈晩變(ちん・しん)先生は、七月四日逝去されました。七十三歳

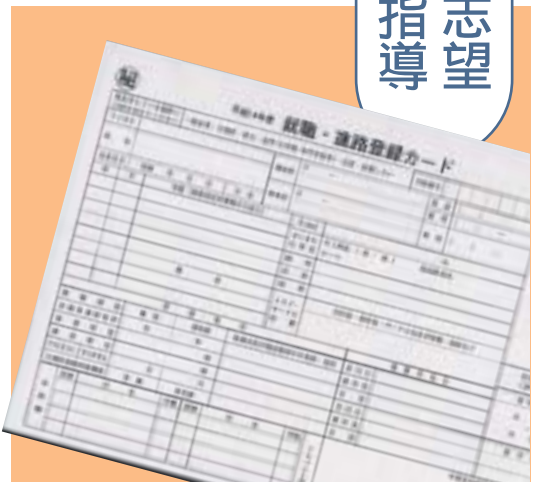
一九六八年、名古屋大学経済学部助手から本学に転じ、九九年まで在職、商学部長

「就職・進路登録カード」 全3年生に提出求める

フリーター志望 避けるよう指導

就職部は、三年生の就職活動支援のスタートにあたって全員から「就職・進路登録カード」を提出してもらうことにし、ゼミ別就職ガイダンスで説明、カードの提出を求めている。

これまでは就職活動を希望する学生から「就職希望登録票」を出してもらい、登録した学生を中心に支援活動をしてきた。今回、新たに全員に提出を求めるのは、卒業前に



なつて慌てて就職部へ駆け込んできた。今回、新たに全員に提出を求めるのは、卒業前に初めから厳しい活動を選び、とくに、初めからいわゆる

フリーターを希望して、就職活動避ける学生が年々増加してきたため、全員の卒業後の進路を確かめる目的で、カードを提出してもらうことにした。

「就職・進路カード」はこれまでの「就職希望登録票」とほぼ同じ内容だが、一般企業、公務員、教員、進学大学院など、自営、就職しないの項目に、つけ、「現在考えている進路」を記入してもらう。

カードの提出にあたってはできる限り就職部員が面談希望を確認して、フリーターなど安易な進路を避けるよう指導していく。

9月末の内定率 昨年同期を上回る

2001年度就職戦線

能力を重視する企業側 厳しい状況は変わらぬ

本年度の就職戦線が夏休み前にヤマを越え、就職部は九月三十日現在で本年度の第一回就職状況調査を行った。就職内定率は四六・六％で、前年同期を上回った。

この調査は就職部へ内定の届けを調べたもので、未届け学生を加えると、実際の内定率はこの数字を上回るとみられる。

本学への求人数は九月末で二、八七二件で前年同期に比べ、一、二九件増とわずかながら増えている。

企業側は「基準に達しない人は採用しない」、能力重視の姿勢を強めており、求人数の増加が内定率につながらない状況になっており、学生の能力アップ、スキルアップが不可欠になってきている。

同部は「内定した学生は早く知らせてほしい」といつている。

ゼミ別ガイダンス 始まる



就職部

3年生への支援活動が本格化

適性検査で「自己診断」 昨年の倍、千二百人が受検

三年生に対する就職活動の支援行事が七月からスタートした。豊田キャンパスは九月二十六日、名古屋キャンパスは十月九日からゼミ時間を使っての本学独自のゼミ別就職ガイダンスも始まっており、就職部の支援活動が本格化している。

就職部にあるコンピュータはインターネットによる就職活動に利用する学生が多い。どう利用するかの講座も計画されている。

支援活動の始まりは、七月四、五日名古屋キャンパス、同月七日豊田キャンパスで行ったガイダンスと就職適性検査。

ガイダンスは、就職活動への心構え、留意点を指導するもので、採用試験の早期化とともに近年、夏休み前の開催が定着した。ことは学部別に行い、各会場には就職が内定した四年生も出席、活動経験などを話した。適性検査はどの職種に向いているか、「自己診断」してもらうのが狙い。

就職未定の4年生に 求人情報を調査・掲示

就職先が決まらない四年生のために、就職部は十月初め、全国の企業一万社に求人活動調査表を送った。

まだ採用活動を続けている企業も多く、こうした企業から新たに求人票を送ってもらうのがねらい。

就職部では送付された求人内容を部内や本学ホームページ上に掲示、就職活動をしている四年生に知らせる。

平成12年度の 決算について

理事 寺川 博

先般、中京大学の十二年度決算が確定した。その計算書のうち、資金収支計算書および消費収支計算書は、それぞれ第1表および第2表のとおりであるが、その概要を述べてみる。

資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動およびその活動に付随する、すべての収入・支出の内容、ならびに当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん未を明らかにするものである。

収入の部

1、学生生徒等納付金収入

収入の中で、主要な部分を占める。十二年度における学生生徒等納付金は、一三九億九、四〇〇万円であり、前年度に比し二億六、三三八万円、一・九%の増加となった。学生総数は十二月五日現在一三、五六四人である。

2、手数料収入

このうち、九八・一%が入学検定料である。十二年度の検定料収入は七億五、一五八

4、補助金収入

国および地方公共団体からの補助金収入である。このうち、私立大学等経常費補助金は六億九四四万円、前年度に比し九、〇六四万円、一三・一%減少した。この国庫からの経常費補助金は抑制傾向が続いており、昭和五十一年度に制定された「私立学校振興助成法」で経常的経費の1/2以内を助成するとされているが、本学ではその経常的経費に対する割合が五・九%と

支出の部

1、人件費支出

専任教職員、兼務教職員、兼務職員の給与・退職金等で退職者の発生により対前年度比二億六、一〇三万円、三・七%の増加であった。十二月五日現在、専任教職員二九一人、専任職員一六九人である。

4、施設関係支出

建物・構造物に対する支出である。十二年度は名古屋・豊田学舎各所空調工事、豊田学舎体育グラウンド整備等を行った。

5、設備関係支出

機器備品・図書等の取得のための支出である。教育研究用機器備品取得のうち主なもの(11面1段目へ続く)

平成三年度以降一〇%を下回っている。
5、資産運用収入
前年度に比し四一八万円、三・一%の増加であった。このうち、受取利息収入が六一・五%を占めている。この受取利息収入は預金の低金利が続いており、近年は大幅に減少している。
6、事業収入
受託研究およびオープンカレッジ受講料の収入である。対前年度比七一万円、〇・四%の増加であった。
7、前受金収入
十三年度入学生の学生生徒等納付金は、前期分の大半が十三年三月末日までに納入されるため、十二年度の収入とする。これは対前年度比二、七八二万円減少した。
8、資金収入調整勘定
期末未収入金と前期末前受金は、現金収受が前年度または翌年度以降行われ、十二年度には資金の流れが伴わないので控除される。

3、借入金等利息支出

借入金に対する支払利息である。借入金残高の減少により、対前年度比一四・九%減少した。

4、施設関係支出

建物・構造物に対する支出である。十二年度は名古屋・豊田学舎各所空調工事、豊田学舎体育グラウンド整備等を行った。

5、設備関係支出

機器備品・図書等の取得のための支出である。教育研究用機器備品取得のうち主なもの(11面1段目へ続く)

第1表 平成12年度 中京大学資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
学生生徒等納付金収入	13,953,915	13,993,996	人 件 費 支 出	7,472,980	7,305,435
手 数 料 収 入	774,740	765,912	教 育 研 究 経 費 支 出	2,955,803	2,716,487
寄 付 金 収 入	653	2,154	管 理 経 費 支 出	829,355	735,798
補 助 金 収 入	696,875	668,154	借 入 金 等 利 息 支 出	10,585	10,578
資 産 運 用 収 入	87,410	140,829	借 入 金 等 返 済 支 出	44,440	44,440
資 産 売 却 収 入	38,250	38,250	施 設 関 係 支 出	261,585	259,358
事 業 収 入	191,230	198,103	設 備 関 係 支 出	1,218,250	1,194,202
雑 収 入	26,000	27,859	資 産 運 用 支 出	2,420,016	2,420,015
前 受 金 収 入	2,501,306	2,874,316	そ の 他 の 支 出	1,056,360	985,922
そ の 他 の 収 入	508,219	497,905	予 備 費	21,668	
資 金 収 入 調 整 勘 定	2,917,313	2,991,165	資 金 支 出 調 整 勘 定	618,066	600,025
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,617,641	9,617,641	次 年 度 繰 越 支 払 資 金	9,805,950	10,761,744
収 入 の 部 合 計	25,478,926	25,833,954	支 出 の 部 合 計	25,478,926	25,833,954

第2表 平成12年度 中京大学消費収支計算書

(単位:千円)

消費収入の部			支出の部		
科 目	予 算 額	決 算 額	科 目	予 算 額	決 算 額
学生生徒等納付金	13,953,915	13,993,996	人 件 費	7,461,508	7,308,830
手 数 料	774,740	765,912	教 育 研 究 経 費	4,280,020	4,041,077
寄 付 金	653	9,049	管 理 経 費	997,104	901,622
補 助 金	696,875	668,154	借 入 金 等 利 息	10,585	10,578
資 産 運 用 収 入	87,410	140,829	資 産 処 分 差 額	90,199	90,193
資 産 売 却 差 額	420	420	予 備 費	13,110	
事 業 収 入	191,230	198,103	消 費 支 出 の 部 合 計	12,852,526	12,352,300
雑 収 入	26,000	27,859	当 年 度 消 費 収 入 超 過 額	1,187,692	1,795,280
帰 属 収 入 合 計	15,731,243	15,804,322			
基 本 金 組 入 額 合 計	1,691,025	1,656,742			
消 費 収 入 の 部 合 計	14,040,218	14,147,580			

のは、情報関係機器、体育関係機器備品、AV関係機器等である。また、図書は十二年度末現在の蔵書数は約一十二万六千冊である。

消費収支計算書

消費収支計算書は、消費収入と消費支出の内容を示すとともに消費収支の均衡の有無を明らかにし、学校法人の財政の永続的な維持を図るためのものである。

1、帰属収入

学校法人の負債とならない収入をいい、返済義務の伴う借入金、預り金を除いたもので、学生生徒等納付金・手数料・補助金・資産運用収入等をいう。対前年度比一・三%の増加であった。

2、消費収入

帰属収入から基本金組入額を控除した額である。

3、消費支出

学校法人が消費する資産または用役の金額をいい、人件費・教育研究経費・管理経費・借入金利息等をいう。対前年度比三億七、九四万円、三・二%の増加であった。この経費のうちには、長期使用資産での経過に伴い減価するもので、年度毎の償却手続きをし支出する減価償却額が含まれている。十二年度では教育研究経費に占める割合は三・一%である。

6、資金支出調整勘定

期末未払金は、十三年三月末現在の未払金であり、十二年度に資金の流れを伴わないので控除される。

消費収支計算書の各科目の構成比は第3表のとおりである。

4、基本金組入額

施設・設備取得額から借入金で取得した分と未払金を除いた額、過年度未組入のうち借入金返済等による組入額、恒常的に保持すべき支払資金の額、建設引当特定資産等を加えたものを基本金組入額とする。

十二年度組入額は、当年度分として十五億七、四五三万円、過年度分として八、二二一万円、合計十六億五、六七四万円であった。

5、消費収入(支出)超過額

消費収入合計より消費支出合計を差し引くと消費収入(支出)超過額となる。十二年度は十七億九、五二八万円の消費収入超過であった。

なお、学校法人梅村学園の平成十二年度決算についても同様に確定し、第4表、第5表、第6表がそれぞれ資金収支計算書、消費収支計算書および学園全体の貸借対照表である。

第4表 平成12年度 梅村学園資金収支計算書

(単位:千円)

収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	17,741,688	17,776,838	人件費支出	11,653,012	11,468,232
手数料収入	888,851	878,811	教育研究経費支出	3,574,778	3,303,846
寄付金収入	52,354	53,448	管理経費支出	1,259,143	1,118,648
補助金収入	2,231,644	2,208,999	借入金等利息支出	69,475	69,475
資産運用収入	123,028	175,674	借入金等返済支出	638,120	638,120
資産売却収入	175,941	175,941	施設関係支出	452,780	446,848
事業収入	202,060	209,083	設備関係支出	1,296,862	1,261,547
雑収入	273,162	268,227	資産運用支出	2,579,768	2,579,363
借入金等収入	102,654	102,629	その他の支出	829,426	805,391
前受金収入	3,166,926	3,548,489	予備費	37,855	
その他の収入	1,272,804	1,227,358	資金支出調整勘定	934,013	924,985
資金収入調整勘定	4,405,599	4,561,236	次年度繰越支払資金	13,044,596	13,974,065
前年度繰越支払資金	12,676,289	12,676,289	支出の部合計	34,501,802	34,740,550
収入の部合計	34,501,802	34,740,550			

第5表 平成12年度 梅村学園消費収支計算書

(単位:千円)

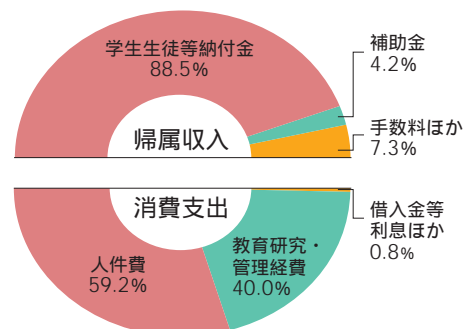
消費収入の部			支出の部		
科目	予算額	決算額	科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金	17,741,688	17,776,838	人件費	11,653,814	11,485,884
手数料	888,851	878,811	教育研究経費	5,316,872	5,042,706
寄付金	57,796	66,716	管理経費	1,461,383	1,318,724
補助金	2,231,644	2,208,999	借入金等利息	69,475	69,475
資産運用収入	123,028	175,674	資産処分差額	102,741	102,461
資産売却差額	137,717	137,717	予備費	30,669	
事業収入	202,060	209,083	消費支出の部合計	18,634,954	18,019,250
雑収入	191,893	190,465	当年度消費収入超過額	549,923	1,280,206
帰属収入合計	21,574,677	21,644,303			
基本金組入額合計	2,389,800	2,344,847			
消費収入の部合計	19,184,877	19,299,456			

第6表 梅村学園貸借対照表 (平成13年3月31日)

(単位:千円)

資産の部		負債・基本金・消費収支差額の部	
科目	金額	科目	金額
固定資産	58,538,687	固定負債	4,970,889
有形固定資産	43,583,117	流動負債	6,142,520
その他の固定資産	14,955,570	基本金	56,786,866
流動資産	14,979,674	翌年度繰越消費収入超過額	5,618,086
合計	73,518,361	合計	73,518,361

第3表 構成比



ブラジルから来日 夫婦そろって博士学位(体育学)取得



来日11年目に博士学位を取得したカバリさん夫妻

ブラジルから夫婦で来日、本学大学院体育学研究科で研究活動にあたったマルセロ・オリベラ・カバリさん、アドリアーナ・シラ・カバリさん夫妻が博士学位審査をパ

ス、九月二十九日、小川英次学長から博士(体育学)の学位が授与された。カバリさん夫妻はともにブラジルのリオ・グランデ・ド・スール大学を卒業して一九九一年来日。愛知教育大学院修士

マルセロさんは体育社会学分野で、わが国の体育学研究の在り方を研究。九百四十一の論文を分析、類型化して実証主義的パラダイムの論文が七百九十八、九七・六%に及び、偏重した体育学研究が児

士論文をまとめ、審査をパスした。アドリアーナさんは、妊娠と身体活動について研究。刈谷保健所管内の乳児検診結果を調査、運動が妊娠に与える影響は小さいが、ある種の既往歴のある人たちでは可能性

「日本の体育学研究の在り方」研究 「妊娠と身体活動について」研究

アドリアーナ・シラ・カバリさん

課程で学んだあと、マルセロさんは四年、アドリアーナさんは九七年、本学大学院体育学研究科博士課程に入學。二人で博士学位の取得をめざ

校友会本部(父母会事務局)は、三、四年生の父母を対象にし、キャンパス見学会を次の日程で開催する。開催日には中京大学祭があり、学生生活の一端が見聞できる。本学教授による講演会、生活、就職問題などについて個別相談会も予定され、関係職員が父母から相談、要望などに応ずる。

豊田キャンパス

開催日時 11月3日(土)
午前11時~午後3時
(受付は午前10時30分~午後1時)

講演会
とき 午前11時~11時50分
ところ 4号館411教室(予定)
テーマ 「顔のわかるコンピュータIT時代の幕開け」
講師 情報科学部教授 奥水大和氏

新体操部模範演技会
とき 午後1時~2時
ところ 6号館2階フロア

個別相談会
とき 午後1時~3時
ところ 9号館2階大会議室

名古屋キャンパス

開催日時 11月4日(日)
午前11時~午後3時
(受付は午前10時30分~午後1時)

講演会
とき 午前11時~11時50分
ところ 2号館212教室(予定)
テーマ 「現代生活と心理学の役割」
講師 心理学部教授 神作 博氏

個別相談会
とき 午後1時~3時
ところ ヤマテホール

父母懇談会 24都市で2、144人が出席

本年度の地区別父母懇談会は六月二日から七月二十八日まで全国二十四都市、二十七会場で開催された。出席した父母は全会場で二、一四四人。会場では梅村清弘総長・理事長、小川英次学長ら大学

教職員が本学の現況、学生生活、就職状況などを説明、父

ナーだけを設置、父母からの相談を中心に開いた。

一方、父母会に合わせ、支部同窓会懇親会も松本、徳島二支部で開かれ、合

母からの質問、相談に応じた。わけて同窓生四十人が教職員と

を交え、懇談した。

父母会 決算、予算を承認 同窓会

2000年度 父母会決算

2000年4月1日~2001年3月31日 (単位:円)

収入		支出	
前期繰越金	73,054,585	父母会開催費	23,958,685
父母会費	191,800,000	父母会開催準備費	572,398
受取利息	2,050,345	事務局運営費	4,463,838
		会報発行費	2,801,254
		父母会奨学金	4,161,680
		通信費	8,480,836
		教育厚生費	5,151,170
		各役員・各会開催費	1,305,755
		入学辞退者返金	345,670
		各種遠征費補助	110,000
		雑費	300,885
		大学設備整備事業費	0
		教育事業支援準備金	150,000,000
		次期繰越金	65,252,759
合計	266,904,930	合計	266,904,930

2000年度 同窓会決算

2000年4月1日~2001年3月31日 (単位:円)

収入		支出	
前期繰越金	75,369,182	同窓会開催費	1,542,340
同窓会費	191,280,000	同窓会開催準備費	61,025
地域同窓会開催費	604,000	ホームカミングデー開催費	152,700
同窓会館使用料	729,170	事務局運営費	5,091,130
受取利息	1,657,512	広告費	30,000
その他戻し入れ	5,760,235	会報発行費	5,619,880
その他収入	47,450	通信費	29,918,369
		各種遠征費補助	780,000
		奨学金費	19,966,640
		全国支部総会費	2,085,093
		会員・準会員記念品等	3,187,241
		名簿作成費	911,400
		入学辞退者返金	243,780
		同窓会会館維持費	886,589
		各役員会・各会開催費	2,371,177
		雑費	813,564
		教育事業支援準備費	140,000,000
		次期繰越金	61,786,621
合計	275,447,549	合計	275,447,549

公開講座

作家の佐木隆三さんらを迎えて



満員の聴衆に父親の役割の重さを強調する佐木隆三氏「ヤマテホール」で

本学が地域の人たちを対象に開催している公開講座は、六、七月に二回、満席の聴講者を迎えて開かれた。

講師として登壇したのは、テレビ、ラジオ、新聞などマスメディアで活躍している作家佐木隆三氏、元ラリースト山村レイコさん。

佐木氏は、相次ぐ少年犯罪について「その背景に『父親不在』があることは確か」などと、長年の裁判傍聴を通して得た見方を披露、父親の役割の重さを強調した。山村さんは国際ラリーなどを通して得た出会いなどについて語った。

「三十年間、さまざまな裁判を傍聴してきて、犯罪とは『社会の病』と思うようになった。理解できない、十代の少年らによる事件が目立つ。二〇〇〇年五月、愛知県豊川市の少年が六十五歳の主婦を殺害。二日後、佐

「昨今の重大事件を見ると、なしく、中流家庭に育った犯罪の内容や手口が単純には理解できない、十代の少年らによる事件が目立つ。二〇〇〇年五月、愛知県豊川市の少年が六十五歳の主婦を殺害。二日後、佐

謎として残る部分が多い」「少年犯罪の様相が見えにくい一因は、『少年の人權を守り、更生の助けにならない』という情報公開しない」という少年法の精神に則り、少年審判の裁判官の合議で審判を行うことも可能になったが、一人の裁判官の独断による判決を避けられる点で評価したい」

文化・芸術・教育シリーズ25

「少年犯罪の闇を探る」

直木賞作家

佐木 隆三氏

「三十年間、さまざまな裁判を傍聴してきて、犯罪とは『社会の病』と思うようになった。理解できない、十代の少年らによる事件が目立つ。二〇〇〇年五月、愛知県豊川市の少年が六十五歳の主婦を殺害。二日後、佐

賀島の少年が高速バスを乗っ取ったあげく殺傷事件を起こした。六月には、岡山県で少年が金庫ハットで母親を殺害。三人はともに十歳、学業成績がよく、おと

判が非公開だからだ。犯罪の奥にあるものを世に知らしめ、教訓として活かしていくことこそが大切である」

少年事件から見える「父親不在」の社会

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

健康・余暇・スポーツシリーズ14

「地球と遊ぶ」 ～ 出会う人、 自然が教えてくれたこと～

エッセイスト・国際ラリースト
山村 レイコ氏

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

人生もラリーも同じ あきらめないこと！



山村レイコ氏

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

「六年前、東京から富士山の朝霧高原に引越越し、現在は農業を楽しみながら暮らしている。世界を旅して感じるのは、農の豊かなところには人の笑顔があるというこ

文化会

夏季リーダーズキャンプ



リーダーズキャンプでバレーボールを楽しむ会員ら

文化会の各クラブ代表ら百九十二人、役員十六人、体育入生勧誘状況と次年度の展望、大学祭実行委員会名古屋会、大学祭実行委員会名古屋会、それぞれ話し合った。

豊田代表各一人、学生課職員 二日目は恒例となったバレー

クラブの枠越え交流深まる

文化会は、九月四日から六日まで京都府亀岡市のホテルで二〇〇一年度夏季リーダーズキャンプを開催した。

初日は、参加者全員が四つのグループに分かれ会議、各グループの枠を越え会員同士の仲も深まった。

部長は今後のクラブ活動の発

今回のリーダーズキャンプを通じて参加者それぞれが一回り

成長し、今後の各クラブ活動の発展の大きな足がかりにな

つてくれると期待している。

(幹事長・浜崎英博)

学生と地域住民が一緒に名古屋キャンパス周辺のごみや空き缶などを拾う第十一回クリーンキャンペーンが七月二十八日、行われた。

学生五十人のほか学生課職員、地域住民合わせて七十六人が参加。四コースに分かれキャンパス内、外のごみや空き缶、ペットボトルなどを拾い集めた。

キャンパス内は建物内完全禁煙以来、ポイ捨てのごみが減ってきているが、三十九袋のごみを回収した。



名古屋キャンパス周辺でゴミを拾う学生

学生と住民で大学のまちをきれいに クリーンキャンペーン



豊田キャンパスでも、いざ...

豊田キャンパス恒例の夏季クリーンキャンペーンが、今年も休暇前の七月十四日、体育会や大学祭実行委員会、サークル団体の学生たちを中心に約八十人が参加して行われた。

に落ちているごみや空き缶などを拾い、周りの学生たちにも美化を呼びかけようという。参加者らは、梅雨明け直後の猛暑と戦いながら、テキパキと歩いて「ントラック一杯分のごみや空き缶などを拾った。

読売書法展 大学の13人入選

者 敬称略 二輪若弘(法学部4年)、野村美美(文学部心理学科4年)、松成裕子(文学部国文学科4年)、松瀬瑞穂(社会学部4年)、小野陽斗(商学部3年)、旗野元樹(体育学部体育科学科3年)、上條綾(文学部国文学科3年)、坪井恭子(文学部国文学科3年)、塘口涼子(文学部国文学科3年)、中森美東(文学部国文学科3年)、逸見俊樹(法学部3年)、佐藤文香(文学部国文学科2年)、若山有希(文学部国文学科2年)

演奏、演技、力いっぱい

芸文系クラブ発表会

作品展示も好評

文化会 芸文委員会主催の第二十三回芸文系クラブ発表会が六月二十三、二十四両日、名古屋キャンパス211教室で行われた。各クラブとも新入生の加入で活気あふれた活動を展開。発表会では芸文系十三クラブが、日ごろの練習の成果を十分に生かしたステージや作品展示を披露した。



また書道部、写真部、漫画研究会などの作品展示も好評。囲碁倶楽部による対局所も囲碁ファンでにぎわい、喜ばれた。各クラブとも発表会を機に更なる向上をめざしており、その活動が期待されている。(芸文委員長・山下博史)

練習の成果を十分発揮したギターアンサンブルの演奏



祝う会で、新たな決意を語った室伏広治選手と北川薫体育学部長(右)

大学院体育学研究所博士課程、室伏広治選手は八月五日、カナダ・エドモントンで行われた世界陸上選手権の男子ハ

世界陸上で「銀」

室伏広治さん(体育学) 投てきで日本初メダル

種目で日本選手がメダルを獲得したのは室伏選手が初めて。室伏選手は、いったんはトップに立ったが、その後、シドニー五輪金メダリストのポランド選手に抜かれ、惜しくも金メダルをのがした。

室伏選手の銀メダル獲得を祝う会が、九月十七日、北川薫体育学部長ら教職員、学生ら五十人が参加して豊田キャンパス食堂で行われた。

祝う会で抱負 次は「金」を

「ハンマー投げを愉快に楽しむ会」と銘打っただけに、参加者がまずハンマーならぬマツチや紙飛行機を飛ばして飛ばし飛ばし合つ余興を行った。ハンマーなら負けない室伏選手もマツチや紙飛行機では「惨敗」で、苦笑い。

このあと、世界選手権の様子を写したビデオを見て、感激を新たにした。

室伏選手は「銀メダルを取ったことより、精いっぱいやったという実感が大きい」と、振り返り、「残っているのはあと一つ。それをめざして頑張りたい」と、五輪世界選手権での金メダル獲得への決意を力強く語った。

体育会

フレッシュマンセミナー



体育会の組織など説明する中井健太幹事長

体育会は五月十二日、豊田キャンパス411教室で体育会加盟の各クラブに入学した新入部員を対象に本年度フレッシュマンセミナーを開催した。中井健太幹事長が、体育会の組織などについて説明した。体育会会員としての自覚をもってもらおうが目的で、一年生部員三百人が参加した。金澤陸会長(体育学部長)も出席した。

OBら、新入部員に気合い

OBら、新入部員に気合い。体育会として、OBも活躍が期待されている。OBは、新入部員に気合いを込めて、活躍を期待している。

ユニバ水泳で二連覇!

坂口結子さん(体育学) 200メートル平泳ぎで優勝



ユニバシアード北京大会が八月二十二日から九月一日まで中国・北京で開かれ、坂口結子選手(大学院体育学研究所)は、二百メートル平泳ぎで二分二十九秒六四の記録で優勝し、二連覇を飾った。

坂口選手はほかに四百メートルドレーに加わり一位、八百メートル平泳ぎで三位だった。

女子ハンマー投げで日本新

綾真澄さん(体4)

綾真澄選手(体4)は八月十八日、香川県丸亀競技場で行われた陸上競技香川県選手権に出場、女子ハンマー投げで62.43の日本新記録を出した。

パワリフティング 三輪景吾さん(体2)

世界ジュニア選手権で総合10位



九月にブルガリア・ソフィアで行われた世界ジュニアパワリフティング選手権大会で、体育学部健康科学科二年生三輪景吾さん(写真)が、82.5の成績で総合十位、ベンチプレスで二位に輝いた。

全国から強豪招き 中京サッカーフェスティバル 42チームでリーグ戦

第七回中京サッカーフェスティバル(サッカー部主催)が七月二十三日から二十六日まで名古屋市中港サッカースタジアムで行われた。全国からハイレベルの高校チームなど招き、愛知県内の大学、高校チームと一緒にプレーすること、愛知の大学、高校サッカーのレベルアップをめざすがねらい。

三輪さんは、附属中京高校の出身。高校時代は硬式野球部に所属、トレーニングのために通っていたスポーツジムでたまたまパワリフティングのことを知って興味を持ち、三年生の冬から本格的に練習を始めた。

初日は監督会議が行われ、北川薫体育学部長が歓迎のあいさつを述べた。

米国クレムソン大学と 留学生交換を軸に交流

学术交流協定 締結は12校に



学术交流協定の協定書に署名する
小川学長(右)とクレムソン大学
パーカー学長(左から2人目)=名古屋
キャンパスで

本学は六月二十七日、米国・クレムソン大学(サウスキャロライナ州)と「學術の協力と交流に関する協定」を結んだ。本学の学术交流協定締結校はこれで十二校、米国の大学では四校目。

協定の調印式は、名古屋キャンパス会議室で行われ、クレムソン大学からシェームス・F・パーカー学長ら八人が出席。小川英次学長とパーカー学長が協定書に署名、交換した。

両学長は署名に先立ちそれぞれ挨拶、「協定の締結で一層、両大学の交流が広がる」と、交流促進に期待を表明した。

協定では、共同研究や教職員・研究者の交流、学生の交流、交換、研究・教育上の情報・資料の交換、その他の交流事業の展開が盛り込まれている。

クレムソン大学は、本学が加盟している国際的な留学促進機関 ISEP の米国加盟校。本学との協定締結まで進んだのは、一九九六年、本学国際センターの中垣昇所長が当時が訪問したのがきっかけ。

本学との交流を強く望み、昨年五月には日米交流担当学長補佐が本学を訪問して締結に向け、具体的な話を進めてきた。

昨年度、ISEPを通して交換留学生一人を本学に派遣しており、留学生の交換を軸に両大学の交流が進むとみられる。



クレムソン大学

クレムソン大学はサウスキャロライナ州クレムソン市にある公立大学。一八八九年に設立された伝統

経営学、健康教育学、農学、建築学など五つのカレッジと七十五のメジャーをもち、学生数は一万三千人余、大学院生四千一人。各分野における高い研究と教育のほか、スポーツでもアメリカン・フットボール部が全米優勝するなど知られている。米国のタイム誌が選定する二〇〇〇年度のナンバワン大学、パブリック・カレッジ・オブ・ジ・イヤーに選ばれている。わが国の大学とは東京大学などと学术交流協定を結んでいる。



2000年度の「カレッジ・オブ・ジ・イヤー」にクレムソン大学を選んだタイム誌。「あなたにとって最もよい大学」として、記事では「身を切るような勢いで」の見出しとともに紹介している。

米国出身の教員、学生 テロ事件の犠牲者追悼

米国で起こった同時多発テロ事件が各方面に多大な影響を与えているが、本学で教える米出身の教員、留学生が九月二十八日、名古屋キャンパスの国際センターに集まり、テロを越え、一層の交流強化に向けて話し合った。

F・ダンジェロ文学部助教授、リチャード・モリソン文学部、テスタイン所長が「悲しい出来事」が起きた。テロを憎み、

悲しみ乗り越え
一層の交流誓う

その根絶に力を尽くさねばならない。同時にテロに屈せず、で事件に巻き込まれた人はなかつた。



テロを乗り越え交流を、と挨拶するノテストイン所長(右端)=国際センターで

外国人客員教員に シンガポールから音声学専門家 パロオ・ニハラニ博士を招聘

本学は二〇〇二年度外国人客員教員として、シンガポールの地域言語センター(RELC)研究員、パロオ・ニハラニ博士を招聘する。パロオ博士は音声学の専門家、英語を外国語として学習する人がイギリス標準英語の発音にどのように対応していくのか、提唱、世界各国で指導にあたる。本学では、二〇〇二年四月から一年間、国際英語学部や大学院文学研究科で国際英語学演習などの講義にあたる。